

1 主題名 だれにでも優しく 2 - (2) 親切

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

現在、人や社会とのコミュニケーション力の欠如が大きな社会問題となっている。まわりの人と温かく豊かな人間関係をつくっていく力は、児童にとって非常に大切な力であるといえる。人とかかわる力の基本となるのは、人を思いやる気持ちや行動である。幼いころから人を大切にし、温かく接していく習慣を身に付けることが、一人一人の児童に人とかかわる力をはぐくみ、ひいては温かい社会の形成につながっていくものと考え。身近な人に対して親切にしていこうとする心情や態度は、小学校低学年から特に大切にしたい資質である。

そこで、本資料を用いて、親切にする・される喜びを十分に感じ取らせ、実生活で実践していこうとする意欲をふくらませたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

入学当初から基本的な生活習慣が身に付いている児童が多く、教師の話を素直に聞いて行動したり学習したりすることができる。また、当番活動や係活動などにも一生懸命に取り組む児童が多い。しかし、欠席した給食当番の児童の代わりを進んで引き受けるといった意欲的な行為が見られる一方で、雑巾がけの順番を守れなかったり、自分の思いを上手に言葉で伝えることができずにトラブルを起こしてしまったりと、自己中心的な行動も見られる。

アンケートの結果から、ほとんどの児童が親切にされたら嬉しいと感じ、親切にすることのよさも理解していることが分かる。しかし、自分が実際に親切にできているかという自信がもてない児童が多い。互いに思いやり、思いやられるような温かな経験を多く積むことで、豊かな人間関係を築いていきたいと考える。

[アンケートの結果] (男子15人、女子16人、計31人 平成22年9月16日実施)

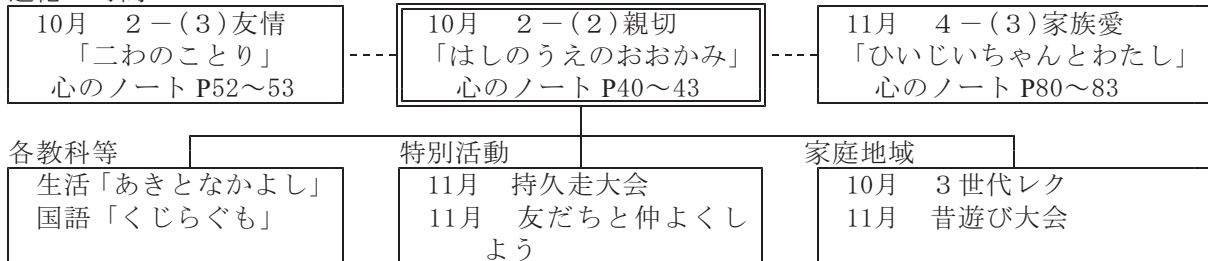
| | | | | |
|------------------------|-----------|-------------|-------------|----------|
| ① 親切にされたら嬉しいですか。 | ・そう思う 29人 | ・大体そう思う 1人 | ・あまり思わない 0人 | ・思わない 1人 |
| ② 親切にすることはよいことだと思いますか。 | ・そう思う 27人 | ・大体そう思う 3人 | ・あまり思わない 0人 | ・思わない 1人 |
| ③ 困っている人に親切にしたいと思いますか。 | ・そう思う 25人 | ・大体そう思う 5人 | ・あまり思わない 1人 | ・思わない 0人 |
| ④ 困っている人に親切にしていますか。 | ・そう思う 13人 | ・大体そう思う 10人 | ・あまり思わない 6人 | ・思わない 2人 |

(3) 資料について (資料名「はしのうえのおおかみ」学研)

自分より小さな動物に対して意地悪をするおおかみや、そんなおおかみに優しくするくまの姿は、児童のふだんの生活に近く共感しやすい。おおかみの心情の変化を話し合う中で、親切な行動のよさを十分に感じさせたい資料である。黒板には、立体的な橋をはじめから取り付けておき、黒板そのものを劇場と板書の両方に使えるようにして、おおかみの気持ちの変化を感じられるようにする。また、資料提示はペープサートを使用し、臨場感あふれるものにしていく。そして役割演技を効果的に活用し、ねらいとする価値についてじっくりと考えさせるようにしていく。

3 関連

道徳の時間



4 本時の指導

(1) ねらい

役割演技を通して、相手を思いやる気持ちの大切さに気付いたおおかみの気持ちに共感し、身近な人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

(2) 準備・資料

- ・ペープサート
- ・お面
- ・一本橋
- ・吹き出し
- ・BGM用CD

(3) 展開

(◎ねらいに迫るために)

| | 主な活動 | 予想される児童の反応 | 支援の手立て |
|-------|---|--|---|
| であらうと | 1 森のくまさんを歌う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・どんな動物が出てくるのかな。 ・くまさんも出てくるかな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・動物が登場する歌を歌って、学習への雰囲気づくりをする。 |
| | 2 資料「はしのうえのおおかみ」を読み、おおかみの気持ちについて考える。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・資料に登場する動物（おおかみ、うさぎ、くまなど）のお面などを見せながら黒板に貼り、資料への関心を高める。 |
| | ① 「もどれ、もどれ。」と言ったおおかみは、どんな気持ちだったでしょう。 | | |
| ら | | <ul style="list-style-type: none"> ・意地悪はおもしろいな。 ・みんな弱いからいばっているぞ。 ・ぼくは強いんだぞ。 ・もっとやりたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ペープサートを用いて、資料の内容理解を図り、動物たちの心の動きが想像できるようにする。 ・うさぎ、きつね、たぬきを順番に黒板に貼り、次々と意地悪を重ねていくおおかみの気持ちを感じ取れるようにする。 |
| | ② くまの後ろ姿をいつまでも見ていたおおかみは、どんなことを考えていたのでしょうか。 | | |
| え | <ul style="list-style-type: none"> ・吹き出しに入る自分の考えを書く。 ・役割演技をして自分の考えを発表する。 おおかみ・・・児童 くま・・・教師 | <ul style="list-style-type: none"> ・なんて優しいんだろう。 ・ぼくも、あんなふうになりたいな。 ・やっぱり小さい子には、優しくしなきゃ。 ・うさぎさんたちに謝らなくちゃ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・くまに出会ったときのおおかみの気持ちを押さえ、想像とは違ったくまの行為によって変化するおおかみの気持ちを感じ取れるようにする。 ・くまを見送るおおかみの吹き出しを配布し、おおかみの気持ちを想像できるようにする。 ・くま役の教師に抱きかかえられて通してもらって体験をし、おおかみの心情に共感させる。 ◎おおかみのお面をかぶらせて役割演技をし、多くの児童が発表できるようにする。 |
| | ③ 優しくなったおおかみは、どんな気持ちでうさぎたちを渡してあげているのでしょうか。 | | |
| み | 3 親切にしてよかった経験とそのときの気持ちについて話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでごめんね。 ・喜んでくれるかな。 ・優しくするほうが嬉しい。 ・物をなくして困っている友だちと一緒に探して見つけたとき、笑顔になった友だちを見て、嬉しくなった。 ・おばあさんの肩をたたいてあげたとき、おばあさんが喜んでくれて嬉しかった。 ・小さい子に遊び場を譲ってあげたとき、なんだかいい気持ちになった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・イメージが湧かない児童には、笑顔で渡しているおおかみの絵を参考にしよう助言する。 ◎親切にした側もされた側も、いい気持ちになることを押さえる。 ・すぐ思い出せない児童には、身近な場面が想像できるように、日常の場面絵を提示する。 ・友だちや家族だけでなく、地域の身近な人まで広げられるように、日常の場面絵を示し、助言する。 (評) 身近な人に温かい心で接し、親切にしようとする心情が高まったか。(発表・心のノート) |
| 広げ | 4 心のノート P42を読み、届けたい温かい心を P43に記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちが困っていたら進んで声をかけたいな。 ・小さい子やお年寄りに親切にしてあげたいな。 ・家族のお手伝いをがんばりたいな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・BGM を流し、今日の授業をじっくりと振り返れるような雰囲気をつくる。 |
| る | 5 教師の説話を聞く。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・親切にして嬉しかった教師自身の経験を紹介し、児童の実践意欲を喚起する。 |

5 事後の指導

「親切の木」を教室の壁に掲示し、親切な行為をしたりされたりしたときにはカードにその内容を書いて貼り付け、学級の中の親切を紹介しあえるようにする。